

2024年度春学期 授業評価アンケート実施報告

<実施概要>

2024年度春学期の授業評価アンケートは、全科目において CUC PORTAL (WEB) を用いて以下の日程で実施しました。

【国際教養学部IQ科目】2024年5月28日(火)～2024年6月10日(月)

【全学部春学期セメスター科目・国際教養学部2Q科目】2024年7月9日(火)～2024年7月29日(月)

質問項目については前学期と同様、「遠隔授業の受講状況(使用端末や通信環境)を把握する設問」、「授業の満足度やシラバス通りに進捗したか等の授業内容に関する設問」、「予習・復習等の授業に対する取組及び学習意欲の把握に関する設問」、「ディプロマ・ポリシーにおける CUC6つの能力要素に基づく学修成果の把握に関する設問」から構成しています。(次頁参照)また「教員として相応しくない言動があったか」という自由記述設問を設けています。

<集計方法>

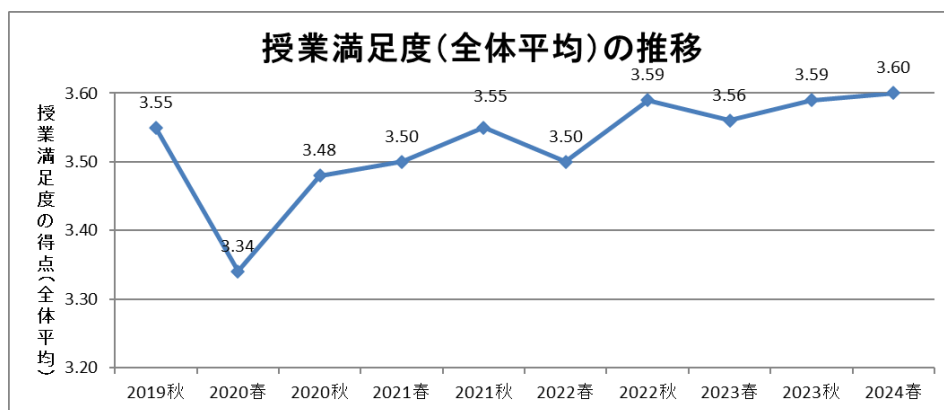
CUC PORTAL から抽出したアンケートデータを基に、選択式の項目は集計処理をし、自由記述項目は回答内容に全て目を通し、後に詳述する授業担当教員へのヒアリングなどの個別対応を行う授業を抽出しました。

<結果の報告>

CUC PORTAL 上で、学生に対しては履修科目のアンケート集計結果、教員に対しては担当科目のアンケート集計結果及び自由記述項目を開示しました。その際、回答した学生本人は特定できないようにしました。

<アンケート結果に基づく改善の取組など>

授業満足度 2024年度春学期の授業満足度に関する項目(※)の得点の全体平均は 3.60 であり、過年度からの推移は以下のとおりです。コロナ禍収束以降上昇を続け、高い水準を維持する結果となりました。引き続き FD 等により大学全体で授業実施に関するノウハウを共有していくことで、満足度の高い授業を実施できるよう取り組んでいます。



※項目 8 「この授業は十分満足できるものであった。」という設問の回答について、以下の通り得点を算出している。
「あてはまる=4点」、「どちらかといえばあてはまる=3点」、「どちらかといえばあてはまらない=2点」、「あてはまらない=1点」

改善の取組 自由記述項目において「相応しくない言動」や「改善すべき点」として指摘などのあった授業の担当教員に対して、適宜ヒアリングや注意喚起を実施しました。

教員のコメント・本講義は、TA・SA による質問対応が上手かったようだ。秋学期も同様に対応したい。
(一部抜粋)・商経学部の学生にとっては法学系の科目はどうしても難しいものになると思われる。より具体例を使って説明していきたい。他方で、専門的な内容でよかったとの意見もあるので、質は落とさず講義を行うつもりである。

<集計結果>

回答対象総数※	実回答総数	回答率
54,141	20334	37.6%

※回答対象総数(回答率の分母)は、全科目の履修者数(のべ数)の総計です。

〈選択式項目の全体集計結果〉

No	質問	回答					
		あった	なかった				
1	この授業を受講する上で、受講環境面（通信環境面、CUC PORTALやMicrosoft Teamsなどのソフトなど）で困ったことがあった。	あった	なかった				
		3.7%	96.3%				
2	この授業では、担当教員とコミュニケーションを取れる環境が提供されていた。（授業内の質疑応答、CUC PORTALの授業Q&Aなど）	提供されていた	ほぼ提供されていた	あまり提供されていなかった	提供されていなかった		
		64.6%	28.3%	5.2%	1.9%		
3	この授業はシラバスの内容通り進行されていた。	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない		
		78.5%	19.4%	1.5%	0.7%		
4	TA・SAの支援は授業の理解に役立っていた。	TA・SAはついていない	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない	
		72.2%	20.1%	4.6%	1.2%	2.0%	
5	この授業は学生に主体的な学修を促すような工夫がなされていた。	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない		
		69.5%	26.1%	3.5%	0.9%		
6	この授業の内容において他の授業でも取り入れてほしいと感じたことや良かった点があった。	あった	なかった				
		13.2%	86.8%				
7	この授業の内容において困ったことや改善してほしいことがあった。	あった	なかった				
		6.3%	93.7%				
8	この授業は十分満足できるものであった。	満足できる	どちらかといえば満足できる	どちらかといえば満足できない	満足できない		
		65.5%	29.9%	3.4%	1.2%		
9	この授業に主体的に取り組んだ。	主体的に取り組んだ	どちらかといえば主体的に取り組んだ	どちらかといえば主体的に取り組まなかった	主体的に取り組まなかった		
		62.9%	33.1%	3.2%	0.7%		
10	この授業で1回の予習と復習に使う合計の平均時間について選択してください。	3時間以上	2時間以上・3時間未満	1時間以上・2時間未満	1時間未満（0分除く）	0分	
		3.8%	7.4%	27.5%	48.4%	13.2%	
11	この授業を履修する際にカリキュラムマップを確認した。（カリキュラムマップは本学のWebサイトに掲載していません。）	確認した	確認していない				
		69.1%	30.9%				
12	カリキュラムマップにおけるこの授業の関連科目を履修したいと思った。	思った	どちらかといえば思った	どちらかといえば思わなかった	思わなかった		
		46.5%	36.3%	9.1%	8.1%		
13	本学で身につくCUC6つの能力要素のうち、この授業を通じて伸びたと実感したのについて選択してください。（複数選択可）	社会規範意識・誠実さ	主体性・責任感	チャレンジ精神・実践力	相互理解・コミュニケーション力	普遍的な知識・技能	専門的な知識・技能
		31.8%	30.1%	29.6%	30.9%	45.0%	52.3%
14	シラバスに記された科目の到達目標は達成できた。	達成できた	どちらかといえば達成できた	どちらかといえば達成できなかった	達成できなかった		
		58.4%	37.5%	3.3%	0.8%		
15	【オンデマンド・リアルタイム授業限定】履修者同士で意見交換や発表するなどの、双方向のやり取りがあった。（複数回答可）	Teamsチャンネル上でテキスト（文字）での意見交換	Teamsのリアルタイム配信上のグループディスカッション	CUC PORTALのクリッカー機能の結果公開	（教員による）他の履修者のリアクションペーパーや小レポート内容の共有	その他	特になし
		19.5%	1.9%	7.5%	28.9%	9.7%	41.2%
16	【オンデマンド授業限定】オンデマンド科目を履修した理由について当てはまるものを教えてください。（複数回答可）	自分のペースで学修できるため	動画資料などを繰り返し視聴できるため	受講場所を自由に選べるため	履修したい授業がオンデマンド形式で開講されていたため	必修科目などの事前履修登録科目であったため	その他（自由記述）
		66.0%	25.3%	24.4%	18.4%	24.8%	2.8%
17	【オンデマンド授業限定】毎週教員が指定した曜日に授業資料のアップロードや課題配信がされていた。	されていた	されていなかった				
		97.0%	3.0%				
18	【オンデマンド授業限定】毎回課題が出されていた。また、課題に対してフィードバックがあった。	ほぼ毎回課題が出され、フィードバックもされていた。	ほぼ毎回課題が出されていたが、フィードバックはなかった。	課題は毎回ではなかったが、フィードバックはあった。	課題は毎回ではなく、フィードバックもなかった。		
		72.8%	21.1%	3.6%	2.5%		
19	【オンデマンド授業限定】課題内容は、授業資料を確認しないと回答できない内容だった。	はい	いいえ				
		92.7%	7.4%				
20	【オンデマンド授業限定】オンデマンド科目の動画・音声視聴や文字資料の確認の仕方について、最も当てはまるものを回答してください。	一度だけ確認した。	一度確認した後、2回以上最初から再確認した。	一度確認した後、理解できなかった部分を再度確認した。	（動画・音声資料の場合）視聴中、理解できない部分は一時停止し、解決しながら確認した。	その他	
		32.6%	14.6%	19.0%	32.7%	1.1%	
21	【リアルタイム授業限定】リアルタイム科目を履修した理由について、当てはまるものを教えてください。（複数回答可）	受講場所を自由に選べるため	あとで録画された配信動画を繰り返し視聴できるため	履修したい授業がリアルタイム形式で開講されていたため	必修科目などの事前履修登録科目であったため	その他	
		41.7%	13.6%	5.9%	10.5%	44.3%	
22	【リアルタイム授業限定】授業は録画され、後で視聴できるようになっていた。	はい	いいえ				
		71.8%	28.2%				

〈前学期との比較〉

前学期と比較し、「この授業は学生に主体的な学修を促すような工夫がなされていた。」「この授業に主体的に取り組んだ。」などの項目において、「当てはまる」「取り組んだ」など、前向きな回答が増加しました。また、CUC6つの能力要素も全項目において「伸びたと実感した」割合が増加しました。これらのことから、教員による授業工夫や学生の主体性向上が見受けられました。